

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月16日
事業名	都市交通事業	担当課・係名	都市計画課都市計画係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	22
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	1124	事業開始年度	平成15年度

2. 事業の概要

目的 (何のために)	①路線バスの撤退が示された富士見地区（虫窪・黒岩・西久保地区）の公共交通の確保 ②公共交通の利用が不便な生活交通空白地域への新たな公共交通導入の検討				
対象 (誰を・何を)	①虫窪・黒岩・西久保地区住民及び同地区を目的地とする者 ②西小磯赤坂台地区				
内容	①平成14年の道路運送法改正にともなう富士見地区の路線バスの撤退申出を受け、生活交通確保対策事業により路線バスを維持し、併せて路線バスの運行では対応しきれない地域については、運賃無料の富士見地区コミュニティバスを運行していたが、平成24年4月より、二宮駅及び富士見地区まで乗り入れが可能な路線バス運行事業者による有償運行を開始 ②地域住民有志団体「西小磯東地区地域交通推進の会」とともに西小磯地区の公共交通について検討を継続				
根拠法令・条例等	大磯町生活交通確保対策事業補助金交付要綱				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	20,341	20,642	21,718
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	20,341	20,642	21,718
	職員人数 (概算職員数)	人			0.36
	人件費計 (b)	千円			2,206
総事業費 (a)+(b)	千円	20,341	20,642	23,924	
事業費内訳 H 25 年度	旅費：8千円      生活交通確保対策事業補助金：21,710千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 乗車人員	人/日	76	51	98
	②				
活動指標 (活動量)	① 運行便数	便	8	13	13
	②				
成果指標 (達成度等)	①				
	②				

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	住民からの要望であった、駅までのバスの乗り入れや有償運行による継続的なバス運行のため路線バス運行事業者が実施するのは妥当である。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	地域の学生を集団登校させる必要性からバス車両による運行が妥当である。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	限られた便数の中で、地域の学生の登下校、買物や通院など当初意図としていた利用はなされている。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input checked="" type="checkbox"/> その他
	理由	バス事業者の不採算路線であった路線であるため、コストに対する効率性を求めることは適切ではない。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	地域住民からは朝夕の通勤通学のための運行を望む声があり、1日の運行開始及び終了時間が決まっており、これにより係るコストは便数を減らすことにつながるため、図る余地は無い。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	<b>評価理由</b> 利用状況が低調であり、富士見地区住民より改良を求める意見が示されているので今後、ダイヤ改正を行う予定である。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	利用状況が低調であり、より利用が見込まれる運行方法を検討し、ダイヤ改正を行う。
② 平成26年度に着手する事項	ダイヤ改正。
③ その他（課題、調整事項等）	なし。

#### 6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

平成25年12月議会において平成26年4月のダイヤ改正及び一部路線の廃止のための経費補助について補正予算が認められ、このための事務を進めている。
--